

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：保健予防諸費

事業名 原爆被爆者健康管理生活指導事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 精神保健福祉係 電話番号：058-272-1111(内3314)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 200 千円 (前年度予算額： 200 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	200	35	0	0	0	0	0	0	165
要求額	200	35	0	0	0	0	0	0	165
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県内に在住する原子爆弾の被爆者に対し、健康管理や生活指導を行う。

(2) 事業内容

県内在住の被爆者に対する相談会を開催し、医師、ケースワーカーのもとで健康管理や生活指導を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内在住の被爆者の円滑な健康管理、生活を確保する必要があり、一部国庫補助により実施する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	200	被爆者への健康管理、生活指導事業
合計	200	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

厚生労働省補助事業

原爆被爆者保健福祉施設運営費等補助金（原爆被爆者相談事業）

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
原子爆弾被爆者のうち、県内在住者の健康及び生活支援を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

事業内容から達成すべき目標値の設定にそぐわない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	○第1回相談会 (令和3年3月に書面開催、回答者数は280人中90人) 被爆者の健康管理及び生活指導を実施し、その支援に資することができた。
令和3年度	○個別相談 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から従来の集団での相談会を取りやめ、1対1の個別相談会を実施し、被爆者の健康管理及び生活指導の支援に資することができた。
令和4年度	○個別相談 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から1対1の個別相談会を実施し、被爆者の健康管理及び生活指導の支援に資することができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	被爆者が高齢化する中、その健康管理を生活指導は引き続き必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	被爆者が高齢化する中、健康及び生活支援などに寄与し、成果を出せている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	被爆者のニーズに合わせて、医師やケースワーカーなど支援者を変更しながら、的確に健康及び生活支援につながるよう、運用を行っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 被爆者の高齢化を背景に、個々の被爆者に寄り添った健康管理及び生活指導の一層の充実が求められる。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、健康管理及び生活指導の機会を確保していく。
